

平成27年（2015）10月 入域観光客数概況

10月の観光客数は、69万6,800人
対前年（H26）同月比 +11万800人、+18.9%
～10月の過去最高を記録、外国客は早くも前年度実績を上回る～

入域状況

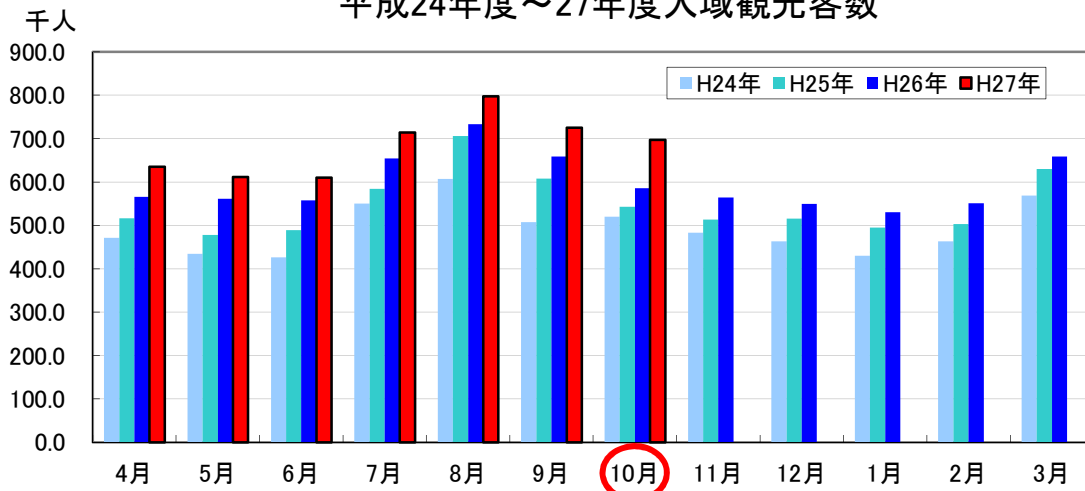
入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	551,700 人	492,200 人	+ 59,500人	+ 12.1%	79.2%
外国客	145,100 人	93,800 人	+ 51,300人	+ 54.7%	20.8%
合計	696,800 人	586,000 人	+ 110,800人	+ 18.9%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	551,700 人	492,200 人	+ 59,500人	+ 12.1%	81.2%
外国客	127,800 人	81,500 人	+ 46,300人	+ 56.8%	18.8%
合計	679,500 人	573,700 人	+ 105,800人	+ 18.4%	100.0%

平成24年度～27年度入域観光客数



国内客 入域状況

10月は、前年度2回来襲した台風の影響が無かったことや、修学旅行や企業の団体旅行が好調であったこと、各方面ともに旅行商品の販売状況が良好に推移したこと等から、前年を上回った。

11月は、各方面ともに旅行商品の造成・販売の取り組み強化がみられ、11月後半から福岡及び名古屋方面等から離島への直行チャーター便が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

10月は、国慶節等の連休による旅行需要の増に加えて、韓国のLCCの新規就航を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数の増加により、空路・海路ともに好調に推移し、前年を上回った。また、4月からの累計で100万人を超え、早くも前年度の実績を上回った。

11月以降は、冬場のオフシーズンとなり、主要方面でもやや鈍化が見込まれるが、引き続き、クルーズ船の寄港回数の増加予定があることや、航空路線が大幅に拡充した韓国を中心に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	279,300 人	256,200 人	+ 23,100人	+ 9.0%	50.6%
関西方面	107,600 人	94,200 人	+ 13,400人	+ 14.2%	19.5%
福岡方面	69,400 人	57,400 人	+ 12,000人	+ 20.9%	12.6%
名古屋	43,400 人	37,300 人	+ 6,100人	+ 16.4%	7.9%
その他	52,000 人	47,100 人	+ 4,900人	+ 10.4%	9.4%
合計	551,700 人	492,200 人	+ 59,500人	+ 12.1%	100.0%

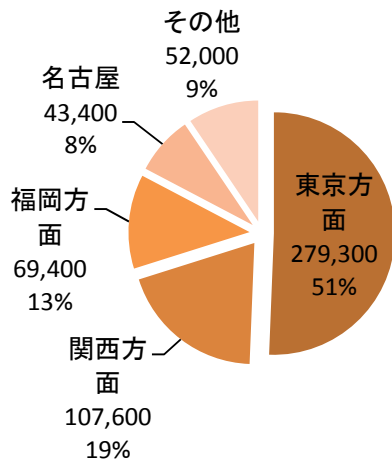
※国内海路客3,700人を含む(鹿児島2,200人、広島1,300人、大阪100人、神戸100人)

外国客 国籍別入域状況

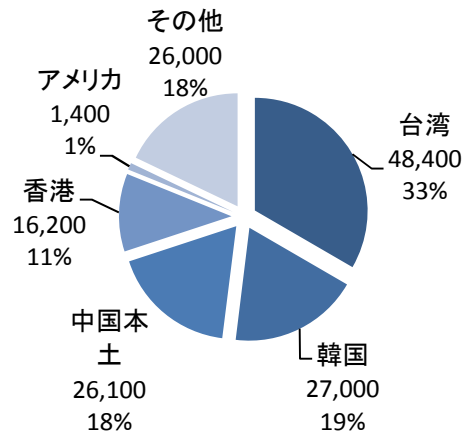
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H27年度	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	48,400 人	48,400 人	36,200 人	+ 12,200人	+33.7%	33.4%
韓国	27,000 人	27,000 人	13,100 人	+ 13,900人	+106.1%	18.6%
中国本土	26,100 人	26,100 人	12,400 人	+ 13,700人	+110.5%	18.0%
香港	16,200 人	16,200 人	11,000 人	+ 5,200人	+47.3%	11.2%
アメリカ	1,400 人	1,400 人	1,800 人	△ 400人	△22.2%	1.0%
その他	26,000 人	8,700 人	19,300 人	+ 6,700人	+34.7%	17.9%
合計	145,100 人	127,800 人	93,800 人	+ 51,300人	+54.7%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	36,500 人	36,500 人	+44.8%	35.3%	11,900 人	11,900 人	+8.2%	28.5%
韓国	26,900 人	26,900 人	+105.3%	26.0%	100 人	100 人	皆増	0.2%
中国本土	20,100 人	20,100 人	+148.1%	19.5%	6,000 人	6,000 人	+39.5%	14.4%
香港	13,900 人	13,900 人	+32.4%	13.5%	2,300 人	2,300 人	+360.0%	5.5%
アメリカ	1,100 人	1,100 人	+37.5%	1.1%	300 人	300 人	△70.0%	0.7%
その他	4,800 人	4,800 人	+29.7%	4.6%	21,200 人	3,900 人	+35.9%	50.7%
合計	103,300 人	103,300 人	+68.2%	100.0%	41,800 人	24,500 人	+29.0%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

10月は、前年度2回来襲した台風の影響が無かったことや、羽田－那覇、羽田－石垣路線が入込増となり、旅行商品の販売が好調であったこと等から、前年を上回った。
11月以降は、スポーツイベント等による団体需要があること、羽田－石垣路線の期間増便や、旅行商品の予約状況が好調となっていること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

10月は、台風の影響が無かったことに加え、修学旅行等の団体旅行が好調であったこと、また、中旬の連休を中心に好調に推移したことから、前年を上回った。
11月以降は、各旅行会社による旅行商品の造成・販売の取り組み強化がみられ、予約状況が好調となっていること等から、好調に推移する見込み。

福岡

10月は、台風の影響が無かったことに加え、前年同月に比べ、各航空会社による航空路線の拡充や、スポーツイベントを中心とした団体旅行や個人旅行ともに好調であったこと等から、前年を上回った。
11月以降は、離島を中心とした旅行商品の人気が高いことや、福岡－宮古島への直行チャーター便の予約状況が好調となっていること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

10月は、台風の影響が無かったことに加え、各旅行会社による旅行商品の販売状況が良く、修学旅行や企業の団体旅行が好調であったこと等から、前年を上回った。
11月以降は、各旅行会社及び航空会社による旅行商品の造成・販売の取り組み強化がみられ、離島を中心に予約状況が好調となっていること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

10月は、台風の影響が無かったことに加え、クルーズ船の寄港回数増により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回ったことに加え、4月からの累計で、早くも前年度の実績を上回った。
11月以降は、例年より2ヶ月長い12月までのクルーズ船の寄港が予定されていること等から、海路客を中心に順調に増加する見込み。

韓国

10月は、ハングルの日の連休による旅行需要に加え、イースター航空のソウル－那覇路線やチェジュ航空の釜山－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、ソウル－那覇チャーター便の好調等により、前年を上回った。
11月以降は、ジンエアーの釜山－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、旅行商品の造成・販売の取り組み強化がみられること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・北京

10月は、上旬の国慶節の連休による旅行需要に加え、前年同月に比べて北京－那覇路線の増便等による航空路線の拡充から空路客が増加し、前年を上回った。
11月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、各旅行会社による旅行商品の造成・販売の取り組み強化がみられること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

10月は、前年同月に比べて上海－那覇路線の増便等による航空路線の拡充、上海及び厦門発クルーズ船の寄港があったことにより、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
11月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

香港

10月は、前年同月に比べて香港－那覇路線の増便による航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港があったことにより、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
11月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。